

進路だより

第2号 令和8年9月30日

東京都立府中けやきの森学園校長

泉 慎一

進路部 担当 堺 奥村

日中はまだ暑さが感じられるものの、朝夕には少しずつ秋の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

さて、進路だより第2号では、夏季休業中に実施した福祉課訪問や進路見学会、定着支援の取組について御紹介いたします。進路選択や進路決定を考える際の参考として、御覧いただければ幸いです。

夏季休業中の活動報告



高等部3年保護者福祉課訪問

福祉サービスの利用や各種障害者手当は、18歳を境に対象となる制度や手続きが変わるものがあります。そのため本校では高等部3年生の保護者の皆様を対象とした福祉課訪問を実施し、卒業後を見据えた福祉制度について学ぶ機会を設けています。

当日は、愛の手帳の成人更新や就労アセスメント、障害支援区分認定の手続き、障害年金や福祉サービス利用の流れなど、卒業後の生活に関わる内容について説明を受けました。また、各市の福祉課担当ケースワーカーとの顔合わせや情報交換も行われ、市ごとの取り組みについて直接話を聞くことができる大変有意義な時間となりました。

暑い中御参加いただき、ありがとうございました。

福祉課との連携は、高等部卒業後の安心した生活を支えるうえで欠かせないものです。御家庭だけで抱え込まず、不安なことや分からないことがありましたら、ぜひお住まいの市の福祉課へご相談ください。今後も関係機関と連携しながら、生徒一人一人の卒業後の生活を支えていきたいと思っています。

保護者向け夏季進路見学会

今年度も多くの皆様に御参加いただき、誠にありがとうございました。卒業後の進路を考える機会として、就労の場である企業4か所、生活の場である通勤寮・グループホーム各1か所の見学を実施しました。見学を通して得られた情報は、お子様とご家族の将来の生活を考えるうえで大変貴重なものです。ぜひ御家庭内で共有していただき、今後の進路選択の参考としていただければ幸いです。

進路部では、こうした見学の機会を重要な行事として位置づけ、来年度以降もより充実したものとなるよう、内容や訪問先の検討を重ねてまいります。

卒業生たちは今 ～定着支援～

本校では、卒業生が進路先において安心して生活や就労を継続できるよう、卒業後の定着支援（アフターケア）を実施しています。定着支援では、卒業生の様子を進路先や御家庭から伺いながら、必要に応じて関係機関と連携し、支援会議等を行うことで安定した生活や就労につなげています。概ね卒業後3年間を目安として実施しています。

今年度も夏季休業期間を中心に、卒業生の進路先への訪問や電話による聞き取りを実施しました。進路先を訪問すると、卒業生がそれぞれの職場や事業所で責任をもって活動し、生き生きと活躍している姿を見ることができました。在学中から大きく成長した様子が伺え、教職員一同、大変嬉しく感じています。

また、進路先での様子や課題、御家庭での状況などを確認し、必要に応じて関係機関と連携しながら支援を行っています。定着支援を通して得られた情報は、卒業生への支援だけでなく、在校生の進路指導や移行支援の充実にも生かしています。

今後も卒業生一人一人が地域の中で安心して生活し、自分らしく活躍できるよう、関係機関と連携しながら支援を続けてまいります。

進路先決定のプロセスについて

本校進路部では、高等部入学後から進路準備を始めるのではなく、小学部・中学部の段階から、少しずつ高等部卒業後の生活をイメージしていただくことを大切に考えております。生徒一人一人の特性やペースに応じて、校内での作業学習を通して働くことへの興味や意欲を育て、地域の福祉施設や企業での体験実習へと段階的につなげていく「スモールステップ」の考え方を大切にしながら、進路指導を進めています。

保護者の皆様には、お時間のある時に、お子様と一緒に近隣の事業所や施設、企業などの外観を見に行ったり、可能であれば見学をしたりしていただければと思います。実際の環境や支援内容に触れることで、卒業後の生活や進路選択について、より具体的な見通しをもつきっかけになると考えております。

また、進路決定にあたっては、面談等を通じて情報を共有しながら、お子様の将来について保護者の皆様と共に考えてまいります。

今後とも本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

